

令和 7 年度 年間授業計画 教科 外国語 科目 論理・表現 I

教科: 外国語 科目: 論理・表現 I 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年

教科担当者:	1組 深津・下山	2組 諫山・深津	3組 三木・上沼	4組 三木・下山	5組 深津・三木	6組 三木・石黒
使用教科書:	教科書: Crown Logic and Expression I (三省堂) 副教材: WORKBOOK FOR CORPUS CROWN English GRAMMAR 45 LESSONS (三省堂)・CORPUS CROWN総合英語(三省堂)・スマートコレクション(啓林館)					

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切に英語で表現したり伝え合う力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。

科目 論理・表現 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の特徴やきまりを理解するとともに、それらと言語活動とを効果的に関連付け、科学技術者に必要な英語でのコミュニケーション力を身につける。	具体的な課題を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて情報を整理しながら論理的な英語で表現する、将来科学者として必要な力を養う。	多くの支援を活用して、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で表現し、科学技術者として論理的に表現したり考えを伝えあう態度を育てる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		聞	読	話 〔 や 〕	書						
単元 1 Lesson 1 Orihime 【知識及び技能】 時制の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、話しかけたり、例を挙げたりする言語の働きを学ぶ。 【思考力、判断力、表現力】 新しい分野を切り開いた人生や生き方について学んだことを基に、自分の夢について効果的なスピーチをする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 【時制】話しかける、例をあげる表現 ・教材 教科書、副教材等 ・一人1台端末の活用(場面) 課題の提示・提出	○	○	○	○	○	○	○	○	6	
	次観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 ①さまざまな時制を用いた文の構造を理解している。②既習の言語材料を使って、論理的に伝え合う技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】 新しい分野を切り開いた人生や生き方について学んだことを活用して、自分の夢についてスピーチを行っている。 【学びに向かう力、人間性等】 上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。										
	定期考査(第1学期中間考査)/返却と解説						○	○			2
	単元 2 Lesson 2 Breakfast Makes Perfect 【知識及び技能】 助動詞の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、出典を示して説明したり、締めくくったりする言語の働きを学ぶ。 【思考力、判断力、表現力】 食生活と健康について学んだことを基に、理想の食生活について効果的なプレゼンテーションをする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 【助動詞】出典を示す、説明する表現 ・教材 教科書、副教材等 ・一人1台端末の活用(場面) 課題の提示・提出、リソースの調査、PowerPoint発表	○	○	○	○	○	○	○	○	6
次観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 ①助動詞を用いた文の構造を理解している。②既習の言語材料を使って、論理的に伝え合う技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】 食生活と健康について学んだことを活用して、理想の食生活についてプレゼンテーションを効果的に行っている。 【学びに向かう力、人間性等】 上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。											
単元 3 Lesson 3 Cool Japan 【知識及び技能】 受動態の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、説明したり薦めたりする言語の働きを学ぶ。 【思考力、判断力、表現力】 日本文化について学んだことを基に、日本文化の魅力について意見を効果的に書く力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 【受動態】説明する、薦める表現 ・教材 教科書、副教材等 ・一人1台端末の活用(場面) 課題の提示・提出、リソースの調査	○	○	○	○	○	○	○	○	6	
次観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 ①受動態を用いた文の構造を理解している。②既習の言語材料を使って、論理的に伝え合う技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】 日本文化について学んだことを活用して、日本文化の魅力について意見を効果的に書いている。 【学びに向かう力、人間性等】 上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。											
定期考査(第1学期期末考査)/返却と解説						○	○			2	

令和 7 年度 年間授業計画 教科 外国語 科目 論理・表現 I

教科: 外国語 科目: 論理・表現 I 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年

教科担当者:	1組 深津・下山	2組 諫山・深津	3組 三木・上沼	4組 三木・下山	5組 深津・三木	6組 三木・石黒
使用教科書:	教科書: Crown Logic and Expression I (三省堂) 副教材: WORKBOOK FOR CORPUS CROWN English GRAMMAR 45 LESSONS (三省堂)・CORPUS CROWN総合英語(三省堂)・スマートコレクション(啓林館)					

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切に英語で表現したり伝え合う力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。

科目 論理・表現 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の特徴やきまりを理解するとともに、それらと言語活動とを効果的に関連付け、科学技術者に必要な英語でのコミュニケーション力を身につける。	具体的な課題を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて情報を整理しながら論理的な英語で表現する、将来科学者として必要な力を養う。	多くの支援を活用して、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で表現したり考えを伝えあう態度を育てる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
単元 4 Lesson 4 Save Our Planet 【知識及び技能】 不定詞の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、問題点を伝え、意見を求め、さらに意見を伝える言語の働きを学ぶ。 【思考力、判断力、表現力】 環境問題について学んだことを基に、環境問題の解決策について効果的にディスカッションする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 【不定詞】提案・勧誘する、意見を求める、意見を述べる方法 ・教材 教科書、副教材等 ・一人1台端末の活用(場面) 課題の提示・提出、リソースの調査	○	○	○	○	○	○	○	○	6	
単元 5 Lesson 5 Volunteer Work for What? 【知識及び技能】 動名詞の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、相手の意見を確認し、反論し、主張と理由を述べる言語の働きを学ぶ。 【思考力、判断力、表現力】 ボランティアについて学んだことを基に、高校生のボランティア活動について効果的にディベートする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 【動名詞】相手の意図を確認する、主張と理由を述べる方法 ・教材 教科書、副教材等 ・一人1台端末の活用(場面) 課題の提示・提出、リソースの調査	○	○	○	○	○	○	○	○	6	
定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説							○	○		2	
単元 6 Lesson 6 Another Life I Might Have Had 【知識及び技能】 分詞の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、同意・共感する、問いかける、理由を述べる等の言語の働きを学ぶ。 【思考力、判断力、表現力】 文学・読書について学んだことを基に、ブックレビューを効果的に発表する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 【分詞】同意・共感する、理由を述べる表現 ・教材 教科書、副教材等 ・一人1台端末の活用(場面) 課題の提示・提出	○	○	○	○	○	○	○	○	6	
単元 7 Lesson 7 What Is Our Greatest Invention? 【知識及び技能】 比較の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、話題を導入し、推量し、意見や理由を述べる言語の働きを学ぶ。 【思考力、判断力、表現力】 サイエンス・発明について学んだことを基に、人類最大の発明について効果的にプレゼンテーションをする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 【比較】推量する、意見や理由を述べる方法 ・教材 教科書、副教材等 ・一人1台端末の活用(場面) 課題の提示・提出、リソースの調査、PP発表	○	○	○	○	○	○	○	○	6	
定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説							○	○		2	

令和 7 年度 年間授業計画 教科 外国語 科目 論理・表現 I

教科: 外国語 科目: 論理・表現 I 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年

教科担当者:	1組 深津・下山	2組 諫山・深津	3組 三木・上沼	4組 三木・下山	5組 深津・三木	6組 三木・石黒
使用教科書:	教科書: Crown Logic and Expression I (三省堂) 副教材: WORKBOOK FOR CORPUS CROWN English GRAMMAR 45 LESSONS (三省堂)・CORPUS CROWN総合英語(三省堂)・スマートコレクション(啓林館)					

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切に英語で表現したり伝え合う力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。

科目 論理・表現 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の特徴やよみかまりを理解するとともに、それらと言語活動を効果的に関連付け、科学技術者に必要な英語でのコミュニケーション力を身につける。	具体的な課題を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて情報を整理しながら論理的な英語で表現する、将来科学者として必要な力を養う。	多くの支援を活用して、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で表現し、科学技術者として論理的に表現したり考えを伝えあう態度を育てる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数						
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕											
単元 8 Lesson 8 Discover Japan 【知識及び技能】 関係詞の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、話題を導入し、相づちを打ち、説明する言語の働きを学ぶ。 【思考力、判断力、表現力】 世界遺産について学んだことを基に、日本の紹介記事を効果的に書く力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 【関係詞】話題を導入し、説明する方法 ・教材 教科書、副教材等 ・一人1台端末の活用(場面) 課題の提示・提出、リソースの調査、PP発表	○	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 ①関係詞を用いた文の構造を理解している。②既習の言語材料を使って、論理的に伝え合う技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】 世界遺産について学んだことを活用して、日本の紹介記事を効果的に書いている。 【学びに向かう力、人間性等】 上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。	○	○	○	6						
		単元 9 Lesson 9 Urban Life or Rural Life 【知識及び技能】 仮定法の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、対比、逆説を表したり、感動を表したりする言語の働きを学ぶ。 【思考力、判断力、表現力】 交通・地域について学んだことを基に、都会に住むか田舎に住むかについて効果的にディスカッションする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 【仮定法】対比、逆説を表したりする方法 ・教材 教科書、副教材等 ・一人1台端末の活用(場面) 課題の提示・提出	○	○		○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 ①仮定法を用いた文の構造を理解している。②既習の言語材料を使って、論理的に伝え合う技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】 交通・地域について学んだことを活用して、都会に住むか田舎に住むかについて効果的にディスカッションしている。 【学びに向かう力、人間性等】 上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。	○	○	○	6			
				単元 10 Lesson 10 Music without a Pianist 【知識及び技能】 接続詞の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、伝聞を伝える、反論する等の言語の働きを学ぶ。 【思考力、判断力、表現力】 芸術、テクノロジーについて学んだことを基に、科学技術について効果的にディベートする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 【接続詞】伝聞を伝える、反論する方法 ・教材 教科書、副教材等 ・一人1台端末の活用(場面) 課題の提示・提出、リソースの調査		○	○		○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 ①接続詞を用いた文の構造を理解している。②既習の言語材料を使って、論理的に伝え合う技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】 芸術、テクノロジーについて学んだことを活用して、科学技術について効果的にディベートしている。 【学びに向かう力、人間性等】 上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。	○	○	○	6
							単元 【知識及び技能】 ・指導事項 【関係詞】話題を導入し、説明する方法 ・教材 教科書、副教材等 ・一人1台端末の活用(場面) 課題の提示・提出、リソースの調査、PP発表	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 【関係詞】話題を導入し、説明する方法 ・教材 教科書、副教材等 ・一人1台端末の活用(場面) 課題の提示・提出、リソースの調査、PP発表		○	○		○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 ①関係詞を用いた文の構造を理解している。②既習の言語材料を使って、論理的に伝え合う技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】 世界遺産について学んだことを活用して、日本の紹介記事を効果的に書いている。 【学びに向かう力、人間性等】 上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。	○
定期考査(学年末考査)/返却と解説													○	○		